

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
15105005	炭素ナノπ電子系の局所構造と特異な電子・磁気特性	榎 敏明 (東京工業大学・大学院理工学研究科・教授)	A
<p>研究代表者らは、ナノグラファイト、ナノグラフェンの研究において優れた成果を上げており、その成果に基づき、本研究では4つの研究目的として(1)一枚のナノグラフェンの局所状態電子状態の解明、(2)ナノスコピック磁性の外圧による制御、(3)化学修飾による端状態の解明、(4)電子線リソグラフィによる細線の作成と伝導現象の解明を行うこととしている。</p> <p>(1)に関するナノグラフェンの幾何構造と電子状態の関係については、明確にSTM解析により示しており、特に高く評価できる。(2)、(3)は概ね達成され、(4)はまだ研究途上である。</p> <p>このように各テーマを見ると、まだこれからの部分もあるが、研究目的の達成度に関しては、十分期待どおりに達成されており、一部研究途上のものも今後に期待ができると考えられる。従って、これらの成果は、極めて高く評価できる。</p>			